環境微生物系学会合同大会 2017

広告/賛助のお願い

会期：2017年8月29日（月）～8月31日（木）
会場：宮城県仙台市 東北大学川内北キャンパス，川内萩ホール
共催：日本微生物生態学会，日本土壌微生物学会，環境バイオテクノロジー学会，
日本菌学会，日本微生物資源学会，東北大学大学院生命科学研究科
協賛：日本ゲノム微生物学会，極限環境生物学会，日本 Archaea 研究会，
日本食品微生物学会，日本植物病理学会，日本放線菌学会，
日本バイオフィーマティクス学会，日本ウイルス学会
後援：日本微生物学連盟，日本きのこ学会，日本生物工学会，日本細菌学会，
日本農芸化学会，日本学術会議

本大会の目的

微生物は地球誕生後の最も早い時期に最初に生まれた生命であり、約 40 億年の歴史を持っています。この中の一部のグループは遊離の酸素を生成するようになり、地球上の多様な生命を育む礎を作りました。環境微生物は、地球上に生息するあらゆる生命に関係し、地球環境の保全に欠かせない役割を果たしています。また、遺伝資源の宝庫として、人間の生産活動に大きく寄与すると考えられています。環境微生物学は、地球上の微生物の役割を解明することを目的に発展してきた学問分野です。それは、生態系であったり、土壌微生物であったり、それを用いるテクノロジーであったりします。また、微生物には菌類、微細藻類、原生動物など多彩な生き物が含まれ、これらの生息する場所は極限環境にもおよび、さらにその動態を把握するにはゲノム解析が重要なツールとなっています。このように広い裾野を包含する微生物分野の学会は既に多数に細分化されており、活発な議論と数多くの興味深い成果が得られているにも拘らず、分野間そして学会間の交流が少ないことが以前から指摘されております。

そこで、分野・学会の垣根を越えた研究の発展を、また日本からの微生物研究の情報発信をより強力なものにすることを目指し、日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会、および環境バイオテクノロジー学会の3学会が話し合い、2014年に合同大会を初めて開催しました。その趣旨を引き継いで、日本菌学会と日本微生物資源学会が新たに共催学会として加わり、2017年に第2回合同大会開催の運びとなりました。この合同大会によって、関連学会との緊密な交流が形成され、研究のさらなる活性化とより活発なアウトリーチ活動が可能になると期待されます。それにより、微生物研究の重要性を広く社会にアピールする場ともなると共に、若手の育成にも繋がります。今こそ、環境微生物研究を総動員させて、次の世代へ続く持続的発展につなげましょう。その起爆剤となるよう本大会を開催します。

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤 究（東北大学 大学院生命科学研究所 教授）

広告/賛助について

本大会の開催にあたり、平素より環境微生物分野の研究の振興と発展に多大なご理解を賜っております皆様へ、広告/賛助をお願い申し上げます。広告/賛助は以下の3種類ございます。環境微生物研究の更なる飛躍のために、皆様のご協力をぜひともお願い申し上げます。

【寄 付】	—□ 10,000 円（1□以上）
【広 告】	プログラム集に掲載（モノクロ、1,200 部発行予定） A4 サイズ 1 ページ 54,000 円（税込） 1/2 ページ 27,000 円（税込）
【ブース展示】	1 小間あたり（W1,800 mm x D900 mm）、展示机 1 脚付 162,000 円（税込）

実行委員会

南澤究（委員長、東北大学）、永田裕二（総務、東北大学）、三井久幸（総務、東北大学）、菅原雅之（東北大学）、久保田健吾（東北大学）、大坪嘉行（東北大学）、佐藤修正（東北大学）、鹿野秀一（東北大学）、大坪和香子（東北大学）、宮内啓介（東北学院大学）、加藤広海（東北大学）、簡梅芳（東北大学）、宮崎厚（石巻専修大学）、矢部修平（東北大学）、齋藤雅典（東北大学）、大園享司（同志社大学）、遠藤銀朗（東北学院大学）、津田雅孝（東北大学）、中村寛治（東北学院大学）、宮腰昌利（秋田県立大学）、服部聡（山形大学）、福田真嗣（慶應義塾大学）、佐藤孝（秋田県立大学）、立石貴浩（岩手大学）、渡辺正夫（東北大学）。

合同大会準備委員会

南澤究（日本微生物生態学会会長、東北大学）、齋藤雅典（日本土壌微生物学会前会長、東北大学）、遠藤銀朗（環境バイオテクノロジー学会前会長、東北学院大学）、妹尾啓史（東京大学）、大園享司（同志社大学）、中村聡（東京工業大学）、伊藤政博（東洋大学）、伊藤政博（東洋大学）、大熊盛也（理化学研究所）、木村凡（東京海洋大学）、跡見靖幸（京都大学）、黒川顕（国立遺伝学研究所）、明間民央（森林総合研究所）、横山正（東京農工大学）、金原和秀（静岡大学）、野尻秀昭（東京大学）、春田伸（首都大学東京）、玉木秀幸（産業技術総合研究所）、永田恵里奈（近畿大学）、吉田重信（農業環境技術研究所）、尾仲宏泰（東京大学）、岩崎渉（東京大学）、長崎慶三（高知大学）。

環境微生物系学会合同大会 2017

広告/賛助申込書

会期：2017年8月29日（月）～8月31日（木）

会場：東北大学川内北キャンパス

川内萩ホール

共催：日本微生物生態学会，日本土壌微生物学会，
環境バイオテクノロジー学会(NPO 法人)，日本菌学会，日本微生物資源学会，
東北大学大学院生命科学研究科

会議概要

環境微生物学は、地球上の微生物の役割を解明することを目的に発展してきた学問分野です。それは、生態系であったり、土壌微生物であったり、それをを用いるテクノロジーであったりします。また、微生物には菌類、微細藻類、原生動物など多彩な生き物が含まれ、これらの生息する場所は極限環境にもおよび、さらにその動態を把握するにはゲノム解析が重要なツールとなっています。このように広い裾野を包含する微生物分野の学会は既に多数に細分化され、分野間そして学会間の交流が少ないことが以前から指摘されております。そこで、分野・学会の垣根を越えた研究の発展を、また日本からの微生物研究の情報発信をより強力なものにすることを目指し、日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会および環境バイオテクノロジー学会の3学会が話し合い、2014年に合同大会をはじめ開催しました。その趣旨を引き継いで、日本菌学会と日本微生物資源学会が新たに共催学会として加わり、2017年に第2回合同大会開催の運びとなりました。この合同大会によって、関連学会との緊密な交流が形成され、研究のさらなる活性化とより活発なアウトリーチ活動が可能になると期待されます。それにより、微生物研究の重要性を広く社会にアピールする場ともなると共に、若手の育成にも繋がります。今こそ、環境微生物研究を総動員させて、次の世代へ続く持続的発展につなげましょう。その起爆剤となるよう本大会を開催します。

平素より環境微生物研究の振興と発展に多大なご理解を賜っております皆様、本分野の研究の更なる飛躍のために、広告/賛助にぜひともご協力をお願い申し上げます。

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤究（東北大学大学院生命科学研究科 教授）

1. 大会の名称

環境微生物系学会合同大会 2017

2. 開催機関の名称

共催： 日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会、環境バイオテクノロジー学会(NPO 法人)、
日本菌学会、日本微生物資源学会、東北大学大学院生命科学研究科

3. 開催期間

2017年8月29日（月）～8月31日（木）

4. 開催場所

◆ 東北大学川内北キャンパス

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41

電話 022-717-7800

◆ 川内萩ホール

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40

電話 022-795-3391

5. 開催責任組織および責任者

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤 究（東北大学 大学院生命科学研究科 教授）

庶務 永田裕二（東北大学 大学院生命科学研究科 教授）

三井久幸（東北大学 大学院生命科学研究科 准教授）

6. 開催計画の概要

(1) 会議日程

	午前	昼	午後	夜
8月29日 (火)	口頭発表 (川内北キャンパス)	学会総会 (川内北キャンパス)	ポスター発表 企画シンポジウム (川内北キャンパス)	各種委員会・ 研究部会 (川内北キャンパス) ミキサー (川内の杜ダイニング)
8月30日 (水)	受賞者講演・ 口頭発表 (川内北キャンパス)	学会総会 (川内北キャンパス)	記念講演 (川内萩ホール) ポスター発表 (川内北キャンパス)	懇親会 (仙台国際ホテル)
8月31日 (木)	受賞者講演・ 口頭発表 (川内北キャンパス)	学会総会 (川内北キャンパス)	企画シンポジウム (川内北キャンパス)	企画シンポジウム (川内北キャンパス)

(2) 記念講演予定者

合同大会準備委員会により検討中

(3) 企画シンポジウムトピックス

合同大会準備委員会により検討中

(4) 発表キーワード

水圏生態系／土壌・耕地生態系／森林生態系／植物病理／水処理生態系／物質循環／
 極限環境／分類・系統解析／ゲノム・分子生物学／生理・代謝・増殖／
 方法論・バイオインフォマティクス／共生・寄生・相互作用／
 界面・バイオフィルム／公衆衛生／バイオレメディエーション／病原微生物

(5) 参加予定者

国内 1,000名程度

(6) 大会使用言語

日本語（英語も可）

7. 広告/賛助の概要

(1) 広告/賛助の種類

- ① 寄付
- ② 広告（プログラム集に掲載）
- ③ ブース展示（設置スペースの都合により 20 件程度）

(2) 金額

- ① 1 口 10,000 円（1 口以上）
- ② A4 サイズモノクロ 1 ページ 54,000 円（税込） 1/2 ページ 27,000 円（税込）
- ③ 1 小間あたり（W1,800 mm × D900 mm），展示机 1 脚付 162,000 円（税込）

(3) 申し込み締切

- ① 2017 年 7 月 31 日
- ② 2017 年 5 月 31 日
- ③ 2017 年 5 月 31 日（20 件程度の設置スペースが埋まり次第、締め切らせて頂きます）

(4) 申し込み先

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

(5) その他

詳しくは各ご案内および申込書をご覧ください。広告/賛助にご協力頂きました会社様につきましては、本大会ウェブサイトにも社名リストを掲載させていただきます。さらに、ご希望がありましたら、社名リストより御社のウェブサイトへリンク設定させていただきます（バナー広告ではありませんので、ご了承下さい）。

寄付のご案内・申込書

環境微生物系学会合同大会 2017 の開催にご協力いただき、誠にありがとうございます。本合同大会は、各学会の会長がその意義を話し合い、今後の環境微生物分野の研究の更なる発展に寄与することを願って開催するものです。環境微生物は、地球上に生息するあらゆる生命に関係し、地球環境の保全に欠かせない役割を果たしています。また、遺伝資源の宝庫として、人間の生産活動に大きく寄与すると考えられています。テクノロジーの進歩は人間活動を増大させましたが、限りある資源の消費で、成長に陰りが見えています。今こそ、環境微生物研究を総動員させて、次の世代へ続く持続的発展につなげる必要があります。その起爆剤となるよう本大会を開催します。

学術関係の研究成果の発表の場である学会大会は本来、参加費、学会からの補助金等で会場費・運営費を賄うことが本旨であります。経費が高み不足を補うための募金を仰がなければなりません。そこで平素より環境微生物研究の振興と発展に多大なご理解を賜っております皆様、本分野の研究の更なる飛躍のために、賛助にぜひともご協力をお願い申し上げます。

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤究（東北大学大学院生命科学研究所 教授）

【寄付 募集要項】

寄付金額：1口 10,000円

募金期間：2017年7月31日まで

お申込：

添付の申込書にて、E-mail、Fax または郵送でお申込下さいますようお願い申し上げます。申込書の電子ファイルは大会 HP よりダウンロードしてご使用下さい。また、環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）永田裕二（aynaga@ige.tohoku.ac.jp）にご連絡頂きましても、E-mail にて電子ファイルをお送り致します。

ご入金：

以下の銀行口座までお願い申し上げます。恐れ入りますが、振り込み手数料はご負担下さい。尚、振り込み名義が御社名と異なる場合には、事前にご連絡下さい。

銀行：ゆうちょ銀行 記号：18170 番号：37122121

口座名義：環境微生物系合同大会2017実行委員会

また他金融機関からの振込の際は、以下の番号になります。

店名：八一八 店番：818 預金種目：普通預金 口座番号：3712212

口座名義：環境微生物系合同大会2017実行委員会

環境微生物系学会合同大会 2017【寄付】申込書

【申込先】環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）

東北大学大学院生命科学研究科 永田裕二

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

E-mail: aynaga@ige.tohoku.ac.jp Tel: 022-217-6227 Fax: 022-217-6227

この度の合同大会の趣旨に賛同し、下記のように賛助いたします。

1 □ 10,000 円

_____ □, 合計 _____ 万円

お振り込み：

_____ 銀行 _____ 支店を通じて _____ 月 _____ 日頃
振り込みます。

領収書の発行

必要（宛名：

_____） 不要

（いずれかにチェックをお願いします）

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社名： _____

ご住所： 〒 _____

ご担当者名： _____

ご担当者所属： _____

電話： _____

ファックス： _____

E-mail： _____

ウェブサイト： _____

（大会 HP の社名リストより貴社サイトへリンク設定させていただきます）

広告のご案内・申込書

環境微生物系学会合同大会 2017 の開催にご協力いただき、誠にありがとうございます。本合同大会は、各学会の会長がその意義を話し、今後の環境微生物分野の研究の更なる発展に寄与することを願って開催するものであり、およそ 1,000 名の参加を見込んでおります。

本大会では、全参加者を対象にプログラム集の発行を行います。本誌における広告は、国内の著名な研究者はもちろんのこと、広く貴社の優れた製品群を宣伝する格好の機会となります。貴社におかれましては、本会の趣旨をご理解いただき、是非広告の出稿をお願いしたく、ご案内申し上げます。

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤究（東北大学大学院生命科学研究科 教授）

【広告 募集要項】

掲載誌：環境微生物系学会合同大会 2017 大会プログラム

予定発行部数：1,200 部

掲載場所：巻末広告ページ

サイズ：A4 サイズ（モノクロ）

金額：1 ページ 54,000 円（税込） 1/2 ページ 27,000 円（税込）

締切：

お申し込み 2017 年 5 月 31 日

原稿・ご入金 2017 年 6 月 30 日

お申込：

添付の申込書にて、E-mail, Fax または郵送でお申込下さいますようお願い申し上げます。申込書の電子ファイルは大会 HP よりダウンロードしてご使用下さい。また、環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）永田裕二（aynaga@ige.tohoku.ac.jp）にご連絡頂きますとも、E-mail にて電子ファイルをお送り致します。

ご入金：

以下の銀行口座までお願い申し上げます。恐れ入りますが、振り込み手数料はご負担下さい。尚、振り込み名義が御社名と異なる場合には、事前にご連絡下さい。

銀行：ゆうちょ銀行 記号：18170 番号：37122121

口座名義：環境微生物系合同大会2017実行委員会

また他金融機関からの振込の際は、以下の番号になります。

店名：八一八 店番：818 預金種目：普通預金 口座番号：3712212

口座名義：環境微生物系合同大会2017実行委員会

ご入稿：お申し込みの後、御社担当者様へ入稿の方法等につきましてご連絡申し上げます。

環境微生物系学会合同大会 2017 【広告】 申込書

【申込先】 環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）

東北大学大学院生命科学研究科 永田裕二

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

E-mail: aynaga@ige.tohoku.ac.jp Tel: 022-217-6227 Fax: 022-217-6227

この度の合同大会の趣旨に賛同し、以下のように広告を申し込みます。

広告のサイズおよび金額：A4 サイズ 1 ページ 54,000 円（税込）1/2 ページ 27,000 円（税込）

A4 サイズ 1 ページ, () ページ

(いずれかにチェックをお願いします)

原稿等についての問い合わせ先：

ご担当者名： _____

ご所属： _____

E-mail: _____

お振り込み：

_____ 銀行 _____ 支店を通じて _____ 月 _____ 日頃
振り込みます。

領収書の発行

必要（宛名： _____) 不要

(いずれかにチェックをお願いします)

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社名： _____

ご住所： 〒 _____

ご担当者名： _____

ご担当者所属： _____

電話： _____

ファックス： _____

E-mail： _____

ウェブサイト： _____

(大会 HP の社名リストより貴社サイトへリンク設定させていただきます)

ブース展示のご案内・申込書

環境微生物系学会合同大会 2017 の開催にご協力いただき、誠にありがとうございます。本合同大会は、各学会の会長がその意義を話し合い、今後の環境微生物分野の研究の更なる発展に寄与することを願って開催するものであり、およそ 1,000 名の参加を見込んでおります。

大会会期中に、ブース展示をメイン会場建物内で開催することに致しました。各講演会会場からも近く、参加者および出展者の利便性に応えられる会場構成となっております。貴社におかれましては、本大会の趣旨をご理解頂いた上、各種製品を多数ご出展賜りたく、ご案内を差し上げる次第です。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤究（東北大学大学院生命科学研究科 教授）

【ブース展示 募集要項】

展示日程：2017 年 8 月 29（火）9 時より 31 日（木）15 時まで

搬入・設営 28 日（月）14 時-18 時 搬出 31 日（木）15 時-17 時

会場：東北大学川内北キャンパス B 棟 2 階自習室

基礎小間仕様： 背面パネル（木製パネル：白）（W1,800 mm × H2,100 mm）

展示台（クロス付：台上白・腰紺）（W1,800 mm × D900 mm × H700 mm）

社名板（白ベース・文字角ゴシック体・黒）（W900 mm × H200 mm）

蛍光灯（40W 1 灯）

コンセント 1 ケ所（100V × 2 口、500W）

出展料： 162,000 円（税込）

机のみ必要な書籍類展示をご希望の方、また、公的機関の方は、別途料金設定をしておりますので、お問合せ下さい。

小間割：出展小間の配置は、大会事務局にて決定致しますのでご一任願います。

締切： お申し込み 2017 年 5 月 31 日

（20 件程度の設置スペースが埋まり次第、締め切らせて頂きます）

原稿・ご入金 2017 年 6 月 30 日

お申込：添付の申込書にて、E-mail, Fax または郵送でお申込下さいますようお願い申し上げます。申込書の電子ファイルは大会 HP よりダウンロードしてご使用下さい。また、環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）永田裕二（aynaga@ige.tohoku.ac.jp）にご連絡頂きますも、E-mail にて電子ファイルをお送り致します。

【申込先】環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）

東北大学大学院生命科学研究科 永田裕二

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

E-mail: aynaga@ige.tohoku.ac.jp Tel: 022-217-6227 Fax: 022-217-6227

ご入金：お申し込みの後、担当者様にご連絡致します。

その他：

1. 200V 電力をご使用の際は、「基本小間仕様以外の設備等を希望する」欄にご記入下さい。電源工事および使用電力料金は出展企業様のご負担とさせていただきます。料金は学会終了後、ご請求致します。
2. 通電の異常, 突発事故などによる停電, 電圧異常などにおける実演機器の破損には責任を負いかねます。出展者において、事前の事故防止対策をお願い致します。
3. 原則として出展料の返却は致しません。
4. 各出展物の管理は出展者が責任を持つものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・火災・損傷などによる出展物の損害に対して、補償などの責任は一切負いません旨ご了承下さい。
5. 出展料には基礎小間制作料金が含まれます。但し、出展料としての性格上、持ち込みパネルでのディスプレイ制作も出展料は同じです。

環境微生物系学会合同大会 2017【ブース展示】 申込書

申込先：環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会（広告/賛助受付担当）

東北大学大学院生命科学研究科 永田裕二

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

E-mail: aynaga@ige.tohoku.ac.jp Tel: 022-217-6227 Fax: 022-217-6227

平成 年 月 日 必着期限：2017年5月31日

出展社名 <small>(団体名・所属)</small>	<small>(フリガナ)</small>	代表者名	
所在地	〒		
部署名	部	課	問合せ 担当者
TEL		FAX	

※ ウェブサイト： _____
 (大会 HP の社名リストより貴社サイトへリンク設定させていただきます)

◆ 出展社表示板（これに記入された名称が社名板に使用されます）

出展社表示名	
--------	--

※ サイズ…W900 mm × H200 mm

※ 仕様…白バックに黒文字（書体、ロゴ等を指定される場合は別途料金を請求します）

◆ 小間申込数（1小間 162,000 円）

	小間
--	----

◆ 展示説明者予定人数

	人
--	---

◆ 基本小間仕様以外の設備等を

希望する	希望しない
------	-------

※ 希望される場合は、以下に希望内容をなるべく具体的にご記入下さい。